

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

春彼岸会法要
 ひがね
 今年も春風亭柳朝師匠の
 落語でひと笑い
 平成28年3月20日(日祝)
 3月20日(日)、彼岸会法要が
 営われました。午後1時から
 始まった、地元・大森に
 お住まいの春風亭柳朝師匠
 による落語独演会では、本
 堂に用意された約200席
 はほぼ埋まり、言葉巧みに
 親をだまして小遣いをせし
 める子供の話「真田小僧」、



正直者同士が意地の張り合いから
 最後は娘を嫁がせる人情話「井戸
 の茶碗」の2演目に、本堂は笑い
 に包まれました。
 午後2時から安本由道ご住職
 式師のもと、法要が厳かに営まれ
 ました。

花まつり
 甘茶をかけて
 お釈迦様の誕生を祝う
 平成28年4月8日(金)
 境内の桜の花もまだ咲き残る4
 月8日(金)、花まつりの法要が
 執り行われました。この日はお釈
 迦様のお誕生をお祝いし、屋根や
 四方を花で飾った花御堂の中に安
 置したお釈迦様の誕生仏に甘茶を
 かけて讃仏しました。
 参詣者には甘茶の飴が配られま
 した。



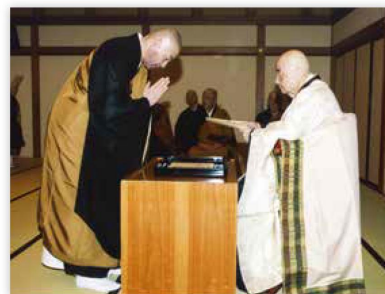
平成27年度第6回曹林先住職退任式(平成28年3月30日)
 安本由道ご住職は前から後目、福山院下の左より

新住職就任

本年1月8日當山二十六世太真利正大
 和尚遷化に伴い、3月7日本葬儀に際し
 檀信徒並びに寺に関わる多くの方々にご
 香資、ご焼香を賜りましたこと誠に有
 難く、厚く御礼申し上げます。
 1月22日付「本山管長辞令」にて萬福
 寺住職の任を仰せつかりました。多くの
 皆様にご指導、ご法愛を賜わりながら今
 日までお務めをさせていただき、深く感謝
 申し上げる次第であります。檀務の方は
 従来と変わりはございませんが、代表役
 員としての任務を果たすため、微力では
 ありますがまだまだ諸先輩御老師、御寺
 院様はもとより檀信徒の皆様のお力添え
 をいただきながら、先代住職の法燈をしつ
 かりと引き継いでゆく所存であります。
 辞令伝達にあたり3月下旬、宗務庁で
 の首先住職研修会に出席して参りました。
 管長福山諦法院下より御示事の一言が次
 のようにありました。
 「衣食足りて礼節を知る。戦後七十年を
 過ぎ日本の国は素晴らしく発展してしま
 したが、世の中では目を覆うような犯罪
 が何故に増え続けるのか? 仏法をしつ

皆さまの心に寄り添い、共に喜び合える 仏様の心を求めて

かりと布教していくことがあなたの方の使命
 です。」
 人々は何かが満たされても、満ち足りな
 い心の迷いが節度をわきまえられない行動
 になるように思われます。
 また、宗務庁総務部長から結びに次の一
 言をいただきました。
 「日本の、いや世界でもその名の轟く実業
 家松下幸之助氏、本田宗一郎氏が何故に成
 功したのか。それはみんな仲良しだからで
 ある……。会社がよくなつていくには従業
 員を守りその家族が幸せになること。そう
 なれば働くことにも専念でき、会社の中も
 仲良い環境が生まれ、自ずと繁栄していく。
 自分の考えだけを押し通すだけでなく、相
 手のことを理解し寄り添う姿勢が大切であ



福山院下(写真・右)より辞令を賜る安本由道ご住職

る。お寺も繁栄していくには山内みな仲良
 しであり、快くみながご来山できる開かれ
 た環境であり、住職と檀信徒のみなさんが
 寄り添うことのできる「同時行」でなけ
 ればなりません。」
 年中行事のなかで先祖様を大切に思い、
 それぞれの家庭が幸せになり、その人の幸
 せを喜び合える仏様の心になれることが、
 将来檀信徒とお寺が繁栄していくことに繋
 がると思っております。
 行き届かないことが多々あることかと思
 いますが、今後共々ご指導、ご鞭撻、ご法
 愛を賜わりたく何卒宜しくお願い申し上げ
 ます。
 合掌



五人の仏事師(本葬儀)



護持会役員20名に参付し接客
 を担当
 長く続いた会葬者の列、本葬儀

當山二十六世 太真利正大和尚の本葬儀を厳修

去る3月7日(月)、8日(火)、當山
 二十六世太真利正大和尚の連夜(通夜)、
 本葬儀が本堂にてしめやかに営まれました。
 7日の連夜では黄梅院御住職長谷川文浩
 老師を導師に、配役僧侶20名による數佛の
 式が行われました。翌8日、本葬儀は午前
 11時から始まり、弔電披露後、大本山永平
 寺御事使、本瑞寺御住職洞外文隆老師、河
 原清彦護持会会長が弔辞を述べ、その後五
 人の仏事師により執り行われました。最後
 に、遺弟・安本由道住職が御列席の御寺院様、
 護持会・檀信徒の皆様へ謝辞を述べ、さら
 に平林延勝筆頭總代から、太真利正大和尚
 に哀悼の誠を捧げつつ、今後は安本由道新
 住職を中心に當山繁栄のため、精進してい
 くとの決意表明があり、本葬儀は滞りなく
 終了しました。